



明化の教育

2月号（第530号）

令和7年2月3日

文京区立明化小学校

校長 熊倉 勝

子供たちの健全な心を育むために



150周年記念展覧会は、各学年の特徴が活かされた作品ぞろいでした。

副校長 原 洋子

先日の開校150周年記念展覧会と土曜授業公開に、多くの保護者の皆様や地域の皆様が御参観くださいました。今回は、同窓生の皆様、旧職員の皆様も多くお越しくださり、新しい体育館での初の展覧会を見ながら「やはり明化小学校は素晴らしいですね。」とお褒めの言葉をたくさん頂戴しました。誠にありがとうございました。

さて、早いもので2月になります。2月は、東京都教育委員会が「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」とし、全ての子供を対象にアンケート調査を行っています。この調査は、毎年6月、11月、2月の学期に一度設定されていますが、必要な場合は調査の回数を増やすこともあります。調査結果から気になる回答をした子供には、学級担任を中心として面談を行い「何の悩みを抱えているのか。」「いじめはないか。」「の確認をしています。明化小学校では子供の希望で相談したい大人を選択させ、その大人が聞くようにしています。また、スクールカウンセラーが第3学年と5学年の全員面接を行い、日頃から相談しやすい環境作りにも取り組んでいます。早期発見・早期解決に向けての一助になるよう、関係者で組織的に動くように心掛けています。このように組織強化や環境作りを凶っても、残念ながらいじめに関する事案はなくなりません。特に最近気になるのがSNSに関する問題です。

東京都では、児童・生徒が、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため「SNS東京ルール」を策定し、平成31年に改訂版を出しています。

改訂版「SNS東京ルール」（平成31年4月25日改訂）

- 1 スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。
- 2 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。
- 3 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。
- 4 個人情報をお教えたり、知らない人と会ったり、自撮り画像を送ったりしない。
- 5 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

SNSなどは大人も利用している人が多く、便利なものですが危険性も潜んでいます。小さなトラブルから深刻なケースに発展する場合もあり、最近では小学校でもトラブルが多く発生しています。

子供たちの健全な心を育むためには問題行動などの対応において、御家庭の保護者の皆様、地域住民の方々、関係諸機関などとの迅速かつ適切な連携・協力できるサポート体制の確立が必要なことは言うまでもありません。「何よりも子供のために」の視点にたち、一致団結して取り組みたいと思います。今後とも御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。